

CONTENTS

- 02 平成30年度  
施政方針
- 05 目次  
イベント情報
- 06 平成30年度  
当初予算の概要
- 10 市長コラム  
介護技術コンテスト受賞者  
遠野さん 立川さん 鈴木さん
- 11 行政情報
- 14 健康いいカラダ
- 17 リレーコラム  
介護技術コンテスト受賞者  
遠野さん 立川さん 鈴木さん
- 18 げんきな親子
- 19 新しい小学校が誕生します
- 20 HOTな話題
- 22 警察  
路線バスのバス停が変わります  
お太助バスのダイヤ変更
- 23 消防
- 24 トピックス／募集
- 25 歴史紀行
- 26 およこび・おくやみ
- 27 4月の相談
- 28 集まれ！安芸高田のアイドル



〈今月の表紙〉  
自分たちで描いた自画像を手に  
微笑む吉田小学校の児童たち

本庁・支所連絡先

安芸高田市 ☎ お太助フォン 42-2111 (代)  
八千代支所 ☎ お太助フォン 52-2111  
美土里支所 ☎ お太助フォン 54-0311  
高宮支所 ☎ お太助フォン 57-0311  
甲田支所 ☎ お太助フォン 45-4111  
向原支所 ☎ お太助フォン 46-3111

市役所開庁時間 8:30～17:15  
(土曜・日曜日、祝日、年末年始は閉庁)

安芸高田市ホームページ  
<http://www.akitakata.jp>



# 4月のイベント情報

今月開催の市内イベント情報をお知らせします

## 3月下旬から 土師ダム桜まつり

☒土師ダムのどごえ公園 (八千代町土師)  
☒3月下旬～4月中旬 ☒無料  
☒八千代町湖畔祭実行委員会  
☎お太助フォン52-2811



約6,000本の桜が咲き誇る名所に、期間中は屋台も多数出展。7日(土)には神楽の上演が行われます。(雨天中止)

## 3月31日から 向原かたくり祭り

☒かたくりの里 (向原町長田)  
☒3月31日(土)～4月8日(日) / 9時～15時  
☒無料  
☒向原農村交流館やすらぎ  
☎お太助フォン46-3987



施設の老朽化のため、今年が最後の開催となる向原の春の風物詩。「男味のうどん、そば」や本数限定の「セリ入り巻きずし」など、名物料理も登場します。

## 4月8日 八千代の丘美術館 春まつり

☒八千代の丘美術館 (八千代町勝田494-7)  
☒10時～17時 ☒無料  
☒八千代の丘美術館  
☎お太助フォン52-3050



入館作家入れ替りに合わせて行われる「春祭り」。入れ替えセレモニーや入館作家による作品の解説「ギャラリートーク」も行われます。

## 4月8日 郡山桜まつり

☒郡山公園池の周辺 (吉田町吉田)  
☒11時～15時 ☒無料  
☒吉田地区振興会  
☎090-1354-3061



地元団体の様々なステージ発表や、主催者による手作りの炊き込みご飯、うどんなどの販売が行われます。

## 4月22日 アートまつりin向原

☒向原農村交流館やすらぎ 芝生広場 (向原町長田) ☒10時～16時  
☒向原農村交流館やすらぎ  
☎お太助フォン46-3987



屋外で行われるライブイベントやアトラクション、アート・クラフトの展示販売など、子どもから大人まで楽しめる様々なブースが軒を連ねます。



### (2) 高齢化対策、安全安心の確保

『市民に安全安心を与える投資』

先にも触れましたが、本市が抱える大きな課題は、急激な高齢化の進行です。人口減と高齢化が同時に進む状況下では、地域の互助機能や家庭での介護力が低下してまいりまも市民総ヘルパー構想のもと、新たな互助・共助のかたちを創り、一定の成果を挙げてまいりました。

平成29年度から取組をスタートしました「生活支援員制度」は、市民の皆様や地域振興組織等が「共助」を実践していただく地域福祉活動です。平成30年度は全市展開を推進していくほか、町単位に生活支援員を配置し、支援員と地域振興組織等が連携して共助を実践していただく体制を強化してまいります。

このほか、温泉などの観光施設を活用した介護予防や健康づくり活動の推進、吉田総合病院耐震化への支援など、市民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、「安全・安心を与える」施策に取り組んでまいります。

### (3) 市の魅力を引き出し、発信

『市民に元気と活力を与える投資』

安芸高田市内には、毛利元就関連史跡や甲立古墳といった名所旧跡、神楽門前湯治村・たかみや湯の森・湧永満之記念庭園・土師ダムといった観光スポット・交流施設があります。このほか、神楽に代表される独特な文化、各種のお祭りなど、多様な観光交流資源があります。

地域に目を向けますと、伝統的なお祭り、はやし田や子ども歌舞伎、農村風景など、様々な魅力・隠れた魅力が存在します。特に、地域におけるお祭りや伝統芸能の継承活動には、市民の多くが参画し、地域に対する誇りの醸成につながっています。

これらの独特な文化、多彩な観光資源を大切な「宝」として捉え、魅力を広く発信していくことが必要と考えています。その一つである「神楽」を活用した観光振興・地域振興施策につきましては、高校生の神楽甲子園や、東京・大阪など大都市圏での神楽公演が大きな反響を呼び、今では海外で公演するなど着実に成果を挙げてまいりました。

また、魅力発信の拠点となる「道の駅」整備事業がいよいよ具体的に

動き始め、平成30年度には施設の建築に入り、平成32年春の開業を目指します。本市の農産物など地域産業の振興の拠点、本市の文化・スポーツ・歴史などの観光情報の発信の拠点、防災拠点など、従来の道の駅とは違う新たな魅力を持つ「道の駅」を目指してまいります。

このほか、本市の活力を生み出す農業の振興につきましては、担い手や新規就農者への支援に継続して取り組むとともに、生産性・収益性の高い農業の実現に向けて大規模野菜団地の整備事業にも取り組んでまいります。

### おわりに

田園都市としての活力と魅力を高め、市民の皆様が全国に誇れる「住み続けたいまち 安芸高田市」の実現には、一つひとつの課題を乗り越え、市民の皆様と一丸となって「人口減対策」をはじめとする各施策を着実に実行していく必要があります。市民の皆様との間に築き上げてきた信頼関係を力に一層の成長を目指していくことを約束し、平成30年度の施政方針といたします。